

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
H - 1	消防本部総務課	消防団グループ

事務事業名		小型動力ポンプ及び消防団車両（積載車・ポンプ車）購入事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画 との関連	主要施策名 （施策コード）	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 （施策コード）	Ⅲ-7-12	自主的な防災活動及び防災教育の推進							
		Ⅲ-7-13	防災に関する組織の育成・強化							
基本項目	事業 内容 （経緯）	小型動力ポンプ4基、消防ポンプ自動車1台を購入し、消防団機械庫に配備しました。 火災をはじめ、各種災害発生時の機動力向上のため、整備・更新を行う必要があります。								
	行 動 指 標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	消防団車両老朽化所持率	全46台に対する比率	%	22	17	17	22	41
		②	小型動力ポンプ老朽化所持率	全56台に対する比率	%	25	23	20	21	30
	③									
	④									
事業 対象	消防団及び、市民		成果	火災に対し早期に対応でき、市民の生命・身体・財産の被害を最小限にすることができました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
					H30	R1	R2			
		配備後15年以上経過の車両・ポンプ数	老朽化率の車両、ポンプ数/ 全102台	%	23	21	15	22	26	

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業		節(または説明)		事業費(千円)	関連する行動指標
11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	17	備品購入費	19,525	①
11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	17	備品購入費	6,820	②
								-	
a直接経費合計								26,345	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)
				4,605		21,700			40

評価 の 視 点	評価		判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			老朽化した車両・ポンプは故障が多く発生しており、いつ発生するかかわからない災害に対し、迅速に対応するため、購入は必要です。	
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			有事の際に即座に対応し、被害の軽減が期待できます。	
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			計画的に更新することで、効率的に活動でき、老朽化に伴う修繕費や人件費を削減することができます。		
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない				
事業の問題・課題		物品や資機材の管理者に対し、常日頃から機械の点検や使用をお願いしていますが、まだまだ機械を動かさないことによる故障が見られます。故障が無いよう、維持管理の徹底をしていく必要があります。				
具体的な改善案		訓練や会議を通して、質の高い管理方法を指導していきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	火災をはじめとした各種災害に対して、迅速に対応するために小型動力ポンプ及び車両の整備・更新を計画的に行う必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和3年度)

番号	課名	グループ名
H - 2	消防本部総務課	消防団グループ

事務事業名		消防団消防機械庫新築事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画 との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 (施策コード)	Ⅲ-7-12	自主的な防災活動及び防災教育の推進							
		Ⅲ-7-13	防災に関する組織の育成・強化							
基本項目	事業 内容 (経緯)	老朽化が進んでいる機械庫を新築し、効率的な出動体制の確立および災害時の団員の待機・休息場所を確保します。また、災害拠点施設としての機能を十分に果たせるよう、建設地の厳選をします。								
	行 動 指 標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値
						H30	R1	R2		
		①	消防機械庫の新築数	単年度整備数	棟	1	1	1	1	2
		②								
		③								
	④									
事業 対象	消防団		成果	建築前の第13分団機械庫は大雨による被害により浸水し、今後も水害による被害が懸念され、活動拠点としては不適切であったため、安全な場所へ建て替えました。						
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R3 実績値	R6 計画値	
		整備後30年以上経過の機械庫数	整備後30年以上の老朽化率(全60棟)(30年以上経過の機械庫数÷全60棟)	%	52	53	51	50	53	

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	12 委託料	1,177		
	11 一般会計	9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	335	消防施設費	14 工事請負費	25,024		
								-		
	a直接経費合計							26,201		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	
							25,400		801	

評価の視点	評価		判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か			大規模災害時に、消防団員の拠点施設である機械庫詰所がその機能を十分に果たすことによって、多くの市民の生命・身体・財産を守ることができます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか			管轄する地域の高台に新たに建設用地を確保のうえ、新築したことによって、地域の住民とのつながりが強くなり、住民の安心にもつながると考えます。
		A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか			地元自治会・分団との協議により、円滑な用地確保ができています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない			
事業の問題・課題		災害時の拠点施設としての機能を十分に果たせるよう、建設地の選択が重要になります。			
具体的な改善案		地元自治会や消防団と協議を行い、危険順位の高い機械庫を優先的に建て替えるように計画性を持って実施します。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	老朽化が進んでいる機械庫を新築することで出動体制の効率化を図り、地域防災の拠点となることが期待されます。
------	---------------	----	--